

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		-	-
		コンビニ（経営者）	・弁当や総菜関係と一緒に飲料を買っていく人が増えてきている。
		衣料品専門店（経営者）	・ゴールデンウィークも控えており、例年どおり夏に向かって観光客も増え景気は良くなるとみているが、北朝鮮問題で沖縄へのミサイル投下や戦争の懸念が広がり、米国同時多発テロの時のように「沖縄は避けた方が良い」といった風潮にならない事を願う。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階における予約状況から推測される今後2～3か月先の客室稼働率は、今月より実績の前年比プラス幅が大きくなる見込みである。
		通信会社（店長）	・新商品の発売があり一時的には回復するとみているが、継続しての景気上昇は期待できない。
		観光名所（職員）	・予約状況が良い。
		その他のサービス[レンタカー]（営業担当）	・今年のゴールデンウィークは前年に比べ予約の入込は良い。また6月はアイドルグループの一大イベントが沖縄で開催されることもあり、県外からの問い合わせも増えている。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅展示場への来場者数のうち、建築予定地確保の客の比率が60%と増えている。
		百貨店（店舗企画）	・衣料品の動向次第であるが、観光客の購買動向は堅調と予測している。今年の旧盆が9月初旬に後ずれするため、6～7月のお中元ギフト動向が下降し、8月にずれ込むことから、特に7月は前年割れとなる可能性が高い。
		コンビニ（代表者）	・現在の観光客動向は継続し、県経済も安定して推移する。
		衣料品専門店（経営者）	・景気が良くない状態が相変わらず続いている。県の発表では観光客が伸びて景気が上向いているそうであるが、地元客の状況はあまり良さそうにはみえず、まだまだ景気は回復しているとはいえない。
		その他専門店[書籍]（店長）	・例年と比べ、特に大きく変わる要因は見当たらない。
		旅行代理店（マネージャー）	・今のところ大きく変わる要素がない。
		ゴルフ場（経営者）	・先の入込状況は良くないので、営業努力で例年並みぐらいには戻すつもりである。
		住宅販売会社（代表取締役）	・建築受注予定の案件が控えており、契約は順調に推移するとみられる。
	-	-	-
	×	商店街（代表者）	・商店街では、物販の売上が落ち込んでおり、今多少売れるというのは飲み屋である。小さい飲み屋が乱立しており、空き店舗が出ると、次に入るのほとんど飲食関係である。ただし商店街の一部は売れていても、全体的には売れない状況が続いており、景気は悪い。
	×	スーパー（販売企画）	・6月ごろに、商圏内に競合店が1店舗立地予定である。
	×	その他飲食[居酒屋]（経営者）	・全体的に求人難であり、特に調理人は奪い合いの状態、店舗のレベルを維持することが大変な状態にある。店舗間での貸し借りやOBのヘルプで何とか維持できている。人件費の値上がりや価格で吸収できていない。
企業 動向 関連  (沖縄)		-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・6月ごろから公共工事が開始予定である。
		輸送業（代表者）	・生コンは離島のホテル等のリゾート関連工事が動き出しており、公共工事でも出荷は増勢である。アスファルトも港湾工事や農道舗装で先々は期待できる。長期的にはクルーズ船対応の岸壁工事が予定されている。
		輸送業（営業）	・前年より多数の荷主と交渉を行ってきた定期業務の受託金額見直しについて、一部改訂が実施されつつある。また、県外大手物流会社の大幅な料金改定も後押しとなっている。受託金額見直しによる荷主離れも無く、前年比でも取扱量は増えている。
		広告代理店（営業担当）	・県内の民間企業の販促投資は、県内消費が堅調に推移しているにもかかわらず、現状維持、あるいは微減である。市場を海外へ求める動きが活発化する一方で、先行きを不安視する声もあり、県外企業との競争激化も相まって販促投資が減少傾向へ転じる可能性もあるように感じている。
		会計事務所（所長）	・外国からの観光客も増加はしているが、購買、消費には以前ほどお金をかけなくなっている印象がある。
	×	建設業（経営者）	・新規の引き合い件数が少ない。
	-	-	-

雇用 関連  (沖縄)		-	-
		人材派遣会社（経営者）	・依頼の内容から、幅広い業種に人材不足が生じており、派遣業は更に伸びていくものとみられる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数が増加している。
		人材派遣会社（総務担当）	・求職者の動きは出ているものの、売手市場かつ正社員志向の流れは変わらないので企業とのマッチングには苦労している。
		学校 [ 大学 ]（就職担当）	・大学新卒求人の動きが活発になってきた。業界によっては顕著に人材不足を感じることもあるが、全体的には求人数を含め前年度と同様の感触である。
		求人情報誌製作会社（編集室）	・ゴールデンウィーク明けも継続して求人件数は多いとみられる。6～7月は、若干減少に転じると予想している。
	学校 [ 専門学校 ]（就職担当）	・物価高の影響が徐々に出てきそうな気配である。	
	x	-	-